



関連部署にご回覧ください

LPGC Report

エルピーガス振興センターレポート

第38号 January 2009

☆ トピックス

・理事長新年ご挨拶..... 1

☆ プロジェクトニュース

・世界LPガスフォーラム(ソウル)参加報告..... 2

・石油ガス流通実態調査 委員会の紹介..... 5

☆ 各部・室からのお知らせ

・広報室 : 『LPガスガイド』の紹介..... 6

平成20年度石油ガス懇談会開催報告及び概要について..... 7

・調査研究部 : 「LPガス国際セミナー2009」開催案内..... 9

☆ 事務局からのお知らせ

・平成20年度第二回通常理事会・評議員会の開催案内..... 10

・平成21年度予算(財務省内示)の概要..... 10

☆ 編集後記..... 12

トピックス

◆理事長新年ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

エルピーガス振興センターは、皆様よりのご支援・ご協力を賜り昨年も各種事業の取組みを着実に進めることができました。また、おかげさまで創立20周年の節目を迎えることができました。厚く御礼申し上げます。



昨年は金融不安の顕在化をはじめとして、世界経済を大きく震撼させる出来事が多発した年でありました。この影響はこの先数年に及ぶと見込まれ、これからの世界の経済はもとより、政治そして社会の大きな変化の招来を強く予感させます。エネルギーの世界もこの波から逃れません。

こうした状況ではありますが、LPガスのこれからの中・長期的に必要なとされる方策を考え、取り組む良い機会ではないでしょうか。国内LPガス業界は次の時代に向けた方策を模索しつつ、この数年これらを大胆に実行に移してきています。LPガスの持てる価値を十分に引き出し、これを高めることで国民利益のさらなる増進に寄与することが、LPガス産業の一層の活性化を進めるバネとなります。

当センターではこれまでもLPガス産業活性化に向けて「技術開発」「調査研究」「普及啓発」「国際協力・交流」の4事業と「広報」の活動を推進し、また様々な視点からの活動に取り組んでまいりました。

技術開発におきましては、これまでのDME燃料実用化研究の取り組みの総仕上げとして、DMEとLPガスとの混合燃料での家庭用消費機器との適合性など利用技術面での検証を進め、本年3月までに成果のとりまとめを行います。

調査研究では、国内LPガス事業者の経営近代化の促進と流通の効率化に向けた調査とともに、一昨年来、JOGMECより国家備蓄石油ガスの放出等に関する調査を受託し、現在とりまとめを行っております。

また、広報活動では、年間を通して全国各地で消費者・自治体と事業者などを主な対象としてLPガス事情講習会を開催して、適正なLPガス取引環境や災害対策の理解・整備に努めております。国際交流では、2月26～27日に「LPガス国際セミナー2009」の開催を予定しております。年毎に多くの参加を頂き、出席の産ガス国なども揃いつつありますことから、今年も、皆様からのご期待に沿えるように、充実したものにしたいと思っております。

センター運営に深く関わる公益法人改革におきましては、公募制の徹底など国の事業の仕組みが大きく改められる中、昨年12月より新法人への移行認定がスタートしております。また、LPガス事業全般に関わるエネルギー関連法の衣替えの審議も進んでおります。当センターは、こうした大きな環境変化の中で20周年を迎えるにあたり、LPガス産業の活性化という本来の使命を遂行すべく、業界関係団体と緊密に連携しつつ、自主事業の充実にも努め、消費者、業界さらに行政との三位の結びつきをさらに強められるような活動にも、力を注いで行く所存です。

会員の皆様方には、引き続きセンターの業務・活動に対しまして、これまでに増したご指導、ご鞭撻を、心よりお願い申し上げます。

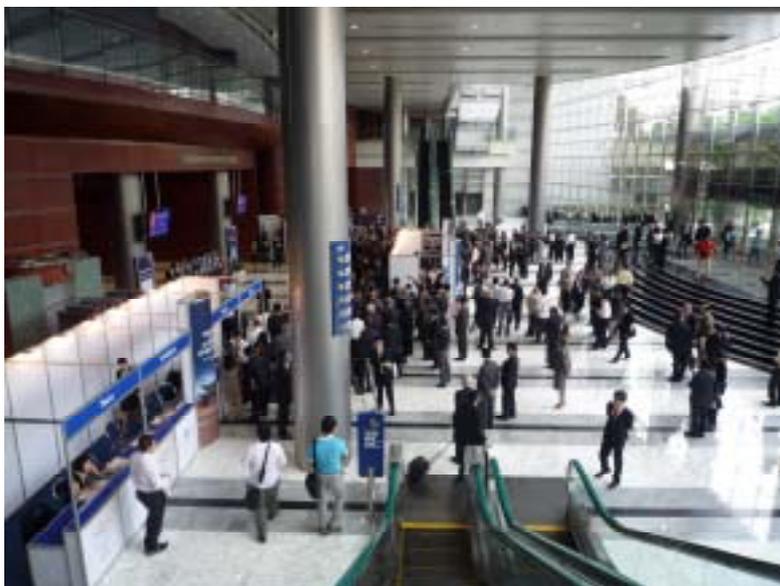
新しい年が皆様にとりまして、実り多い年であることを心より祈念いたします。



プロジェクトニュース

◆世界LPガスフォーラム(ソウル)参加報告

平成20年9月22日(月)～26日(金)、韓国ソウル COEX Convention & Exhibition Center(コーエックス会議・展示場)において第21回世界LPガス協会(WLPGA)フォーラム及び第2回世界技術会議(GTC2)が開催されました。エルピーガス振興センターからは、WLPGAの理事である加藤理事長以下が参加しました。



会場受付

【総会】9月23日

22日のWLPGA個別技術委員会、23日の産業諮問委員会、理事会に続いて総会が開催されました。グリーンバーク会長からの任期満了による退任申し出を受け、第一副会長であるIOC(インド石油公社)のベフリア総裁が新会長に選出されました。次期総会は来年10月にブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催することを決定しました。

【大会規模】

アジア・大洋州、欧州、米州、中東、アフリカ諸国から50ヶ国近い参加があり、フォーラムへの正式参加者は約500名で、日本からは韓国に次ぐ65名の参加がありました。GTC(世界技術会議)のみの参加者並びにフォーラムに併設されたブース展示会の展示関係者・見学者を含めると約800名が参加しました。



フォーラム会場

【フォーラム】 9月24日～25日

○ 歓迎挨拶： WLPGA会長、韓国LPガス協会会長、韓国環境大臣

○ 第1日目(9月24日)

(基調演説)： 韓国知識経済大臣、世界銀行上級気候変動専門官

(セッション1)： 『世界及び地域におけるLPガスの展望』 4講演

パービン&ガーツ、カタール・タスウィーク社、サウジ・ペトロリアム社、
ゴールドマン・サックス社

(セッション2)： 『気候変動との闘い』 4講演

エナジェテックス社、韓国公共財政協会、欧州LPガス協会、ブラジル・ウルトラガス社

(ラウンドテーブル)： 『高価格環境における競合』

参加者：エルガス社(豪)、アメリカガス社(米)、SHVガス社(蘭)、ガスコ・チリ社、
昭和シェル(日)

○ 第2日目(9月25日)

(基調演説)： 現代自動車社長、韓国環境政策研究所理事

(セッション3)： 『アジアにおけるLPガスの新しい機会』 4講演

C1エナジー社(中)、リライアンス社(印)、トタルDMEジャパン社(日)、
SKガス社(韓) (トタルDMEジャパン社よりは遠藤副社長が講演)

(セッション4)： 『卓越したオペレーションに向けて』 4講演

SHVガス社、HPCL社(印)、英国ガス協会、フェレルガス社(米)

(セッション5)： 『技術革新』 5講演

米国プロパン教育研究協議会、エルガス社、レプソール社(スペイン)、ガスコ・チリ社、
ストラテジック・エナジー社(ナイジェリア)と南アLPガス安全協会の共同講演。



技術発表

【GTC/世界技術会議】(9月26日)

資格審査を通過した48論文を(A)世界オートガスの発展、(B)操業技術、(C)革新応用の3セッションに分類し、3会場で同時並行発表を行った。日本からはAテーマで2論文、Bテーマで2論文、Cテーマで4論文の計8論文の発表を行ったが、これは韓国の12論文に次ぐ本数でした。

【展 示】

フォーラム会場に隣接した展示会場では、世界各国の機器を中心とした48ブースに加え、現代自動車のLPG車を縦に切った内部構造の展示が行われ、会場外にはトヨタ・プリウス、ボルボ等のLPG車の実車が配されて、参加者が乗り込んで説明を受けていた。またLPG仕様のトラックも展示され参加者の興味を引いていました。



展示ブース



プリウスLPG仕様車



LPGトラック



現代自動車のLPGポンペ

【日本に対する評価】

参加者数及びGTCにおける発表論文本数で、開催国韓国に次ぐ結果を残し、フォーラム運営にあたっては、講演に止まらず、ラウンドテーブルへの参加、セッションのチェアマンという重要な役割を担ったことにより、日本の協力に対してWLPGAより非常に高い評価と感謝を受けました。

(調査研究部 岩田主任研究員)

◆石油ガス流通実態調査 委員会の紹介

この調査は、石油ガス流通分野において共同化により流通機構の適正化・合理化を図り、一般消費者への石油ガスの安定供給に資することを目的として実施するものであり、当センターは、平成20年度石油製品需給適正化調査(石油ガス流通実態調査)として、平成20年10月に経済産業省資源エネルギー庁より受託致しました。

調査の主な内容は次の通りです。

1) 石油ガス物流合理化の動向調査

全国の石油ガス物流構造の現状と物流合理化への取り組み状況、及び今後の意向に関する調査を行い、物流合理化に係る動向を整理するとともに、地域間の違いを明らかにする。

2) 石油ガス物流コスト低減可能性調査

交錯配送削減による物流経費の削減が最も大きく見込まれる、大需要圏である首都圏地域(1都3県)を選定して、コスト低減の可能性について分析する。

さらにシミュレーションにより充てん所及びデポの最適配置モデルの検討を行い、その実現可能性・採算性を検証する。

また、調査に当たり委員会を設置致しました。ご協力いただきます委員の方々は以下の通りです。

(敬称略・五十音順 (委員長除く))

委員長	内山 隆	青山学院大学 総合文化政策学部 教授
委員	飛鳥井 貴	伊藤忠エネクス株式会社 執行役員 ホームライフ事業本部 統括部部長
委員	岩田 誠一	新日本石油株式会社 小売販売部ホームエネルギー部 ホームエネルギーグループ チーフスタッフ
委員	木村 博	社団法人全国エルピーガス卸売協会 業務部長
委員	澤井 秀明	東邦液化ガス株式会社 製造部長
委員	末永 典章	株式会社ホームエネルギー東関東 代表取締役
委員	庭野 勉	全国農業協同組合連合会 生活関連事業部 燃料部ガス事業改革室 室長
委員	萩田 達彦	アストモスエネルギー株式会社 営業本部 販売部
委員	橋本 昭	株式会社三愛ガスサプライ関東 代表取締役
委員	浜崎 信介	株式会社ジャパンエナジー LPガス部 次長
委員	松家 登	コスモ石油ガス株式会社 取締役営業部長
委員	三島 廣	株式会社サイサン 取締役上席執行役員
委員	耳塚 芳直	武蔵エナジックセンター株式会社 常務取締役

(調査研究部 齊藤総括主任研究員)

各部・室からのお知らせ

◆広報室

『LPガスガイド』の紹介

広報室では、LPガス(プロパンガス)をお使いの一般消費者向け啓発活動の一環として各種パンフレットを発行しておりますが、今回は最新のデータを掲載し、秋に発刊しました『LPガスガイド』をご紹介します。

『LPガスガイド』は、LPガス(プロパンガス)の概要、特性、需要と供給、料金と価格、取引関係、災害対応、保安と安全など全般的な項目をお知らせする広報パンフレットです。特に料金と価格に関することや消費者と販売店との間の取引に関するお知らせについて分かりやすく掲載している点で他にないパンフレットです。今回は環境に優しく災害に強い特長をアピールしています。

主な内容は次のとおりです。

◆環境に優しいLPガス

地球環境に優しいLPガスの特長やエネルギー効率の良いコンロや給湯器などの高効率ガス機器やLPG車などを紹介。

◆災害に強いLPガス

分散型エネルギーの特長を活かし、地震など災害時に復旧が早く、仮設住宅や避難所でも活躍していることや、都市ガスエリアでも災害時に備え、LPガスを常用する施設を導入する動きのあることを紹介。

◆LPガスの保安と安全

マイコンメーターなど安全機器の普及と販売事業者の保安点検などの実施で事故が減少した経緯や、各種安全器具、ガスコンロなどの安全装置、販売店の保安業務、集中監視システム、および家庭用ガス機器等の安全認証マークなどを紹介。

◆LPガスの料金と価格

LPガスが自由料金であることや代表的な料金制度、流通段階ごとの価格推移、小売価格の地域間格差、小売価格に占める流通段階ごとの経費内訳などを紹介。

◆LPガスの取引

LPガス設備の管理責任区分、書面の交付に関する件、販売事業者と消費者との間の契約に関する注意事項などを掲載。

◆LPガスの基礎知識

LPガスの性質(都市ガスとの違い等)、流通経路、需要と供給、備蓄(国家備蓄等)に関することなどを紹介



※「LPガスガイド」に関するお問い合わせは、当財団 広報室まで。(TEL 03-3507-0046)

●平成20年度液化石油ガス懇談会開催報告及び概要について

平成20年度液化石油ガス懇談会は、9月から11月にかけて全国各会場で開催され、活発な意見交換が行われました。

今年度の消費者委員の質問では、最近の契約に関するトラブルの増加もあり、契約に関する質問が多く、また、防災活動事例を紹介したこともあって、災害対応に関する要望も多く出ました。他には、「LPガスの価格動向」、「ガス価格の地域格差」、「LPガスの特長PRの不足」、「高齢者対策の充実」などの質問や意見が出されました。



1. 消費者委員からの主な質問、意見

【LPガス価格関連】

- ・料金の仕組み(基本料金、従量料金など)が解らないとの声がある。請求書に使用量だけでなく、仕組みを表示してはどうか。
- ・高騰したガソリン、灯油などが直近では値下がりしているのに、LPガスの値段は下がらない。今後値下げされるのか。
- ・価格は自由設定だそうだが、地域による格差が大きい。高価格の地域業者は値下げ努力が必要。

【売買契約関係】

- ・新規に安値で契約し、すぐ値上げするなどの事例がある。何らかの対応が必要ではないか。
- ・室内配管の費用清算で、オール電化への変更の場合、事業者間でなく消費者と事業者との間のトラブルとなっている例があり、気がかりである。
- ・契約解除時、14条書面に記載がないのに高額な配管撤去費用を要求されている例がある。こういった事例の減る気配がないが、業界として指導を徹底してほしい。

【保安関係】

- ・今後、高齢化社会に向け、安全機能の充実した器具の更なる普及が必要だと思う。
- ・事故原因のなかで、販売店の過失による事故が多くあるが、社員の技術指導を徹底して実施してほしい。

【広報】

- ・広報パンフレットをもっと末端に行き渡るよう工夫してほしい。設置する場所を増やしたらどうか。
- ・電気は安全・便利とのイメージがあるが、これに対抗し、LPガスの特長(災害対応性など)や新しい機器について、もっとPRが必要である。
- ・講習会は地域の事業者も参加するのが効果的と思う。また、講習会の呼びかけは地域事業者が行なってほしい。

【供給(原油需給、価格関連)】

- ・LPガスの大半を情勢の不安定な中東から輸入しているとのことだが、安定供給のため、国家備蓄はもっと増やせないのか。

【災害対策】

- ・災害時の対応に関して、各県協会と市町村レベルでの防災協定の締結を早急に進めてほしい。

【その他】

- ・IHヒーターが普及しつつあり、LPガス使用者が少数派となる懸念がある。今後の業界の対応が必要と思う。
- ・料金の仕組みが解らないなどの疑問が出るのは、販売店と消費者の接触が減ってきている事情があると思うので、業界の対策を望みたい。

2. 業界他からの主な回答例

- ・料金の仕組みについては契約時に14条書面にきちんと記載し、説明することを徹底したい。また、料金表や請求書などを見れば仕組みが解るよう標準化したものを使うべきであるが、零細業者が多い事情もあり、徹底していない。今後の課題である。
- ・ガソリン、灯油に比べて値下げが遅いと指摘だが、LPガスの場合輸入価格の変動から約2ヶ月のタイムラグがある。今後値下げされるはずであるが、価格に関する説明が不足しているかもしれない。
- ・地域による価格差については使用量、配送コスト、販売店ごとの顧客軒数など様々な要因があり、差が出ていることをご理解いただきたい。
- ・今年10月から販売されているガスコンロは、全バーナに安全装置が装備されており、高齢者にも安心して使っただけの器具である。
- ・広報刊行物については、一般消費者に行き渡るよう、できるだけ販売店を通じて配布する方法に変え、工夫しているが、今後はホームページのより積極的な活用も考えていきたい。
- ・オール電化に対しては、電磁波問題等を取り上げてきたが、LPガスが電気と比較しCO₂削減に有利な点や、現在のガスコンロは安全面でも非常に優れていることなどをPRしていきたい。
- ・お客様とのコミュニケーションに関しては、自動検針の普及などがあり、以前より不足しているかもしれない。コミュニケーションの大切さを再認識し、できるだけ消費者との接触を保つべく努力したい。

主として以上のような意見交換がありました。この内容を参考に、今後各部門での対策・対応が望まれます。

3. 液化石油ガス懇談会開催日程(中央懇談会・地方懇談会 9地区)

(開催順)	開催日	開催場所
①中央懇談会	9月 5日(金)	虎ノ門パストラル
②東北経済産業局	10月 6日(月)	法華クラブ仙台
③北海道経済産業局	10月 9日(木)	北海道経済産業局 第1会議室
④関東経済産業局	10月21日(火)	秋葉原コンベンションホール
⑤中部経済産業局	10月24日(金)	クレール名駅
⑥近畿経済産業局	10月30日(木)	梅田スカイビル
⑦中国経済産業局	11月 7日(金)	八丁堀シャンテ
⑧四国経済産業局	11月11日(火)	高松サンポート合同庁舎
⑨九州経済産業局	11月14日(金)	福岡県中小企業振興センター
⑩沖縄経済産業部	11月17日(月)	那覇第2地方合同庁舎2号館

◆調査研究部

「LPガス国際セミナー2009」開催案内

当センター恒例の国際交流事業の一環であります国際セミナーにつきましては、本年度も『LPガス国際セミナー2009』といたしまして、下記の日程にて開催いたします。今回は、『LPガス:変貌する世界のエネルギー情勢 — LPガスの役割・需給・競争力』を主テーマとして、中東のLPガス主要輸出国およびアジアのLPガス主要消費国並びにLPガス関係機関・団体等から多くの方々にプレゼンテーションしていただく予定にしておりますので、皆様方の積極的なご参加をお願い致します。

なお、26日(第1日目)のセミナー終了後、歓迎レセプションを開催致しますので、多数の方々にご参加いただきたく、併せてご案内申し上げます。

1. 開催日 : 平成21年2月26日(木) 9:30-20:00頃 ※終了時刻は歓迎レセプションを含んでおります。
27日(金) 9:00-12:30

2. 開催場所 : 第一ホテル東京(新橋) 5階 「ラ・ローズ」
東京都港区新橋1-2-6 電話:03-3501-4411

3. セミナー内容 : ①講演予定者:【基調講演】パービン&ガーツ社

【海外招聘者】

・世界LPガス協会(フランス) ・Saudi Aramco(サウジアラビア) ・Tasweeq(カタール)
・E1(韓国) ・広東油気商会(中国) ・Reliance(インド) 他

【日本側講演】

・経済産業省 ・日本LPガス協会 ・(株)三菱化学テクノリサーチ ・東京ガス(株)

- ②プログラム:確定次第、当センターホームページに掲載致します。そちらからご覧下さいますようお願い申し上げます。その後の変更につきましては、都度ホームページにて更新していきます。

4. 参加費: 無料 (日・英 同時通訳付)

5. 申し込み方法 : 参加登録画面をホームページ(<http://www.lpgc.or.jp>)に掲載致しますので、そちらからご登録ください。お一人様ごとにお申し込みください。

※この段階ではまだ『仮登録』です。2月初旬を目途に『登録完了通知』をEメールでご連絡させていただきます。そのメールをもって登録完了とさせていただきます。

皆様のご支援のお陰をもちまして、本セミナーは非常に盛況となっております。少しでも多くの方にご参加いただけるよう収容可能人員の増大を図っておりますが、会場の物理的制約、同時通訳機器の技術的制約等から限界もありますので、必ずしもご希望に添えない場合もございます。予めご了承ください。

6. 申込締切日 : 上記登録作業の都合上、1月30日(金)までにお申込下さいますようお願い申し上げます。

事務局からのお知らせ

◆平成20年度第二回通常理事会・評議委員会の開催案内

当(財)エルピーガス振興センターの平成20年度第二回通常理事会及び評議員会の開催を、下記に予定しています。

- 日 時 : 平成21年3月13日(金) 評議員会 13:00～ 理事会 15:00～
 場 所 : 虎ノ門パストラル 新館6F(プリムローズの間)
 議 案 : ①平成21年度事業計画及び収支予算
 (予定) ②平成20年度の事業進捗状況及び収支見通し(報告)
 ③理事選任
 ④評議委員委嘱
 ⑤その他

◆平成21年度予算(財務省内示)の概要

平成21年度の政府予算案が、昨年12月に財務省より各省に提示され、その中でLPガス関係は次の通りとなっています。各事業の委託先等の選定については、一昨年度より公募制による競争入札が原則となり、年々厳格に適用されていることから、予算項目には個々の事業予算金額が明らかにされていないものもあります。

(単位:億円)

区 分、項 目	21年度 予算内示	21年度 概算要求	増 減	20年度 予 算
＜石油流通課 関連＞				
1. 流通合理化関連	15.7	17.3	△ 1.6	17.4
消費者相談事業 (定額補助)	継続 2.3	2.3	0.0	2.0
販売事業者等構造改善推進 (1/2 補助)	継続 3.8	4.0	△ 0.2	4.0
国際交流事業	継続 0.2	0.2	0.0	0.2
LPガス車導入、オートスタンド設置補助 (1/2 補助)	継続 3.1	4.0	△ 0.9	(※1) 3.1
充てん所統廃合支援 (1/2 補助)	継続 1.5	1.8	△ 0.3	1.8
都市バルク設備設置補助 (1/2 補助)	継続 0.8	1.0	△ 0.2	1.0
LPG 卸売、小売価格調査	継続 0.8	0.8	0.0	0.9
流通合理化調査	継続 1.0	1.0	0.0	0.9
流通実態調査	継続 0.3	0.3	0.0	0.3
販売事業者経営実態調査	継続 0.2	0.2	0.0	0.2
LPガス用 FRP 容器実用化調査	継続 1.4	1.4	0.0	1.5
LPガス自動車容器検査合理化可能性調査	新規 0.3	0.3	0.0	—
非硫黄系着臭物質調査	終了 —	—	—	1.5
2. LPガス需給構造高度化関係	4.1	4.6	△ 0.5	6.3
ガラストップ導入補助 (1/2 補助)	継続 3.9	4.4	△ 0.5	(※2) 4.4
DME/LPG混合燃料利用技術調査	継続 0.2	0.2	0.0	0.5
LPガスコージェネ設置補助	終了 —	—	—	0.6
メンブレン型LPガス改質装置開発	終了 —	—	—	0.8
3. 備蓄関係	238.0	238.4	△ 0.4	210.8
国家備蓄石油ガス管理委託費	42.9	42.9	0.0	42.9
国債整理基金、元本償還、利払い等	170.9	170.9	0.0	143.3
その他 国家備蓄推進事業関係	15.4	15.4	0.0	16.0
備蓄石油ガス利子補給	8.7	9.2	△ 0.4	8.6

<原子力・安全保安院 関連>

4. 石油ガス供給事業安全管理技術開発等		4.4	4.6	△ 0.2	6.2
LPガス燃焼器自動識別システム開発	継続	0.8	0.8	0.0	0.8
中央指導・地域普及事業	継続	2.0	2.0	0.0	2.2
安全管理実態調査	継続	0.6	0.6	0.0	0.5
保安啓発事業	継続	0.6	0.7	△ 0.1	1.0
バルク貯槽 20 年検査体制整備調査	新規	0.3	0.5	△ 0.2	—
バルク貯槽ガス回収システム開発	終了	—	—	—	0.8
バルク供給システム保安対策調査	終了	—	—	—	0.9

<省エネルギー対策課 関連>

5. 高効率給湯器導入支援		6.5	8.9	△ 2.4	8.9
潜熱回収型給湯器 (定額補助)	継続	5.8	7.5	△ 1.7	6.8
ガスエンジン給湯器 (定額補助)	継続	0.7	1.4	△ 0.7	2.1

平成21年度 LPガス産業関係概算要求 (1~5計)	268.7	273.8	△ 5.1	249.6
----------------------------	--------------	--------------	--------------	--------------

注) ・上記の各予算項目の金額は、資源エネルギー庁公表資料に基づく当センターの推計によります。

・平成 20 年度での補正予算追加額(億円) ※1:+5.0 ※2:+2.0

編集後記

師走の風物詩とさえいえるようになった「今年の漢字」に昨年は「変」という漢字が選ばれました。京都清水寺の貫主さまが揮毫される姿を毎年テレビで見るので、貫主さまが字を選んでいるのかと誤解をしておりましたが、日本漢字能力検定協会が一般から募集して選ぶことになっているそうです。

それにしても「変」とは昨今の状況をうまくいいあらわしたものだと思います。

昨年のエネルギー価格は本当に「変」でした。年初より WTI 価格はどこまでも上昇するかのような勢いで、7 月初めには 1 バレル 150 ドル寸前の最高値を記録しました。それにつれて、他の資源価格、穀物価格なども高騰、多くの商品の値上がりを招きました。

しかし、投機資金に対する監視が強化されると高騰していた価格は下落の様相を見せ始めました。そこからの動きは早く、9 月のリーマンブラザーズの破綻を機に一気に信用不安が覆い尽くす状況へと一変しました。それが实体经济へも波及し、世界は 1929 年の大恐慌以来と思えるほどの景気後退へ突入した感があります。我が国はサブプライムローンの影響をあまり受けなければと受けとめ方が一般的でしたが、实体经济の悪化、円高の影響で、いまやこの不況から無縁ではられない状況です。WTI 価格は年末には、ピークの 1/4 以下に下落していました。

米国の次期大統領であるオバマ氏が Change! (変!) を旗印に支持を集めたのも記憶に新しいところです。米国民のみならず、世界の多くの人々が現在の閉塞状況を脱する Change を求めているといえましょう。ただ、人々が主体的に世の中を Change する前に、人々を取り巻く状況の方が大きく Change してしまうために、Change の方向性が定めづら世の中になっているようにも思えます。エネルギー価格や景気の変動があまりにも急激であるので、その動きに対応できず右往左往してしまっている状況です。

間近に迫って参りました 2 月の LP ガス国際セミナー2009 のテーマは、「変貌する世界のエネルギー情勢 —— LPガスの役割・需給・競争力」と決まりました。参加者のほとんどの人が最近のエネルギーやLPGを取り巻く状況の変化をどう捉えるべきなのか関心をお持ちのことと思います。プレゼンターもこのテーマを避けて通ることはできないでしょう。産ガス国、消費国、元売り、販売、・・・立場の異なる人たちがそれぞれどのように今後を見通しているのか、興味のあるところです。多角的な議論の展開を通して、変動の時代を乗り切るヒントが得られることを期待します。どうぞ皆様もふるってご参加いただきますようお願いいたします。

(専務理事 菊岡)





財団法人 **エルピーガス振興センター**



〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目 19 番 5 号 虎ノ門一丁目森ビル4F

TEL : 03-3507-0041 (代表)
03-3507-0046 (広報室)

FAX : 03-3507-0048

ホームページURL : <http://www.lpgc.or.jp>

E メールアドレス : info@lpgc.or.jp



♪ 送付先変更等のご連絡は、FAX又はEメールでお願いします ♪